市政に関する一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。

一般質問の表題

会派名　議員氏名　質問の順番

問　質問の要約

答　答弁者※

質問　通告事項の要約

（答弁の要約）
※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

会議録の閲覧等

【インターネット録画放送】
川越市議会ホームページでご覧になれます。

【今定例会の会議録】
議会ホームページ、または図書館等で5月下旬頃から閲覧できます。

【閲覧場所】
図書館／市民センター／議会事務局／情報公開窓口（東庁舎）

やまぶき会　小高浩行　1

子どもが本に親しむ効果は

問　子どもが本に親しむことによる効果は大きいと考える。「夜9時以降は電子機器を親に預けて本を読もう」などのスローガンを掲げる考えを問う。

答　教育長　子どもが本に親しむことは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。現在、市内各学校で朝読書などを取り入れているが、今後は、乳幼児期から小学生、中学生に至るまで、本に親しむ機会の提供に努める。また、家庭における本に親しむ環境を醸成するため、保護者に対して、スローガンを掲げるなどの啓発をしていくことを考えていく。

質問　本を活用しまちづくり

やまぶき会　中原秀文　2

高齢者の居場所探しのため

問　生きがいづくり支援策として高齢者の居場所探しのため市内の活動グループや就業起業情報を一元管理し窓口を設置すべきと考えるが市の見解は。

答　栗原副市長　地域デビューなど地域社会への参加を促進するため、高齢者が求める情報を一元的に管理し、身近な窓口で提供していくことは必要なことと認識している。

今後は、高齢者の生きがいづくりを支援する一環として、関係部署と連携し、議員提案の、地域の活動に関する情報を一元管理し、公民館など身近な場所で提供できる仕組みづくりについて、改めて検討していきたい。

質問　高齢者生きがいづくり

質問　子どもの長所を伸ばす

自由民主党　関口勇　3

和服観光客の増加について

問　和服、着物での観光は、川越の特徴の一つとして大いにPRをすべきと考えるが、市の考えは？

答　産業観光部長　着物は、古い町並みにふさわしいものであり、川越の特徴として定着してきていると実感している。

市では、川越が着物のまちであることを、引き続き、SNSや各種ポスター、イベントなどを通じて発信していく。

今後も、川越が着物のまちであることを、より一層PRすることで、川越と着物の良さを伝えていきたいと考えている。

質問　川越市の観光

自由民主党　栗原瑞治　4

集団資源回収の推進を！

問　団体の活動資金確保、地域コミュニティー活性化、ゴミ処理経費節約等、多くのメリットがある集団資源回収を優先させることについて市の考えは。

答　環境部長　集団資源回収は、ごみの減量・資源化の推進を目的に、集団回収報償金を交付し、市民と行政が一体となって取り組んでいる。集団資源回収事業については、広報やホームページ、冊子「家庭ごみの分け方・出し方」や自治会回覧等を通じ、周知・啓発を行っている。さらに、広く市民に事業の効果や効率性について認識を高めてもらえるよう、地域の環境美化を中心に活動しているかわごえ環境推進員にも協力を得るなど、啓発に取り組んでいく。

質問　集団資源回収の推進

自由民主党　吉敷賢一郎　5

富士見川越バイパスの延伸

問　本市と外環道を結ぶバイパスの延伸は、東京方面への利便性が向上する本市にとって重要な事業と考える。早期実現に向けた市長の考えを伺う。

答　市長　バイパスの延伸については沿線の8市町で「一般国道254号和光川越間バイパス建設促進期成同盟会」を結成し、要望活動を続けている。このバイパスが東京外かく環状道路へ接続すると川越方面から東京方面へのアクセス性と利便性が向上する。また、東京方面から川越への観光や業務の交通にも寄与する重要な事業と考える。今後も沿線自治体と連携し、早期完成に向け、より一層国および埼玉県への要望活動に努める。

質問　音楽のあるくらしに

質問　東部地域の将来像